



国際医療リスクマネジメント学会

チーム医療安全研修会2022

(第7回)

—医療安全の推進のためのより深いチーム医療のあり方—

主催者の挨拶

医療行為は、適切にチームで実行される必要があるものの、その為には個人の専門能力に加え、集団が効率的に機能する能力を携えている必要があり、時には他チームとも適切に協力する能力が求められる。

ただし、医療の専門家個人に目を向けてみると、ともすれば自分の専門能力と目の前の対人対応、局所最適化に終始する姿を目にしがちである。この問題の解決のための一つの対策として、組織は専門的技術（テクニカルスキル）に加えて、仲間の専門能力を最大限に活かすための能力である、非専門的技術（ノンテクニカルスキル）を集団的知性の一部として携えることが挙げられる。

組織として、このノンテクニカルスキルを習得するためのプログラムとして、米国で生まれたのが TeamSTEPS であり、このプログラムは、医療チームの概念に加え 4 つの能力（コンピテンシー）を身に付け、活用することを目標としている。その内容は、チームの概念とは何かを問う「チーム構成」、リーダーが身に付けるべき資質である「リーダーシップ」、現場の状況を適切に認識し情報を共有するための考え方である「状況モニター」、チームのメンバーを互いに助け合うための共通認識である「相互支援」、そして、医療上・医療安全上重要な事柄を適切に伝えるための能力である「コミュニケーション」から成っている。

本研修では、研修参加者と単に TeamSTEPS の内容を共有するだけでなく、各領域の専門家に、それぞれのコンピテンシーの本質を語っていただくことで、より深いチーム医療の理解を共有することを目標としました。

本研修が、一段階深い、チーム医療の理解に役立つことを願います。

2022 年 5 月

研修担当者
近畿大学病院安全管理部
辰巳陽一